

平成23年度北陸農政局鳥獣被害対策優良活動表彰 受賞者の概要

北陸農政局長賞

朝日町有害鳥獣対策協議会 (富山県朝日町)

主な取組

平成16年に協議会を設立、平成20年度には町において鳥獣被害防止特措法に基づく「朝日町鳥獣被害防止計画」が作成され、本協議会が主体となり対策に取り組んでいる。

町内の各地区単位で設置されている協議会とも連携をとりながら電気柵の導入を進め、平成23年9月末には町全体の農用地をカバー(総延長約26km)するに至った。

また、山沿いの地区については、農家だけでなく、地域の住民も含めた基金(一戸当1,000円~1,200円/年)を設置し、電気柵の維持管理経費に充てている。

さらに、山沿い以外の住民も参加して、山際の刈り払いによる緩衝帯の整備等を実施したことにより、住民主体の「鳥獣に強い町づくり」活動が定着してきている。

これらの取組により、協議会設立当初より被害が軽減している。

北陸農政局長賞

市ノ瀬町イノシシ駆除協議会 (福井県福井市)

主な取組

市ノ瀬町では、平成10年以降電気柵等の設置による被害防除を進めてきたが、個体数調整を含めた総合的な対策を進めるため、平成16年に当協議会を設立。

捕獲は箱わなを用い、イノシシを親子で一度に捕獲する「群れ捕獲」の技術を磨き、集落内で年間20~30頭を捕獲している。

また、協議会メンバーが中心となり、被害状況の把握や無防備な水田・家庭菜園の耕作者に対する改善の呼びかけを行うとともに、柵の設置・撤去、夏場の山際の刈り払いを地区の一斉作業として実施している。

長年の活動の継続により、地域住民の被害対策への意識が高まり、集落内の体制整備、被害マップの作成、電気柵等による被害防除、捕獲による個体数管理などバランスのとれた集落ぐるみの取組が実施され、近年、目立った被害は発生していない。

OBAMAビーストキャッチ開発チーム
(福井県小浜市)

主な取組

小浜市では、シカによる被害が問題となっており、金網柵等の設置や山際の刈り払いによる緩衝帯の整備に加え、捕獲による個体数の適正化が重要となっている。

市内の農家2名が、県の担当者より兵庫県で開発したドロップネットを紹介されたことを契機に、自ら効率的な捕獲器材を開発することを提案、県や市の担当者とも協力しながら、同様の器材と比べ設置が容易で、低コストの器材を開発するとともに、実証試験を繰り返し、最終的には一度に10頭のシカを捕獲することが可能となった。

また、併せて、設置から捕獲までのノウハウを含む一連のシステムを完成させ、地元農機具メーカーに働きかけを行い商品化を実現、平成23年10月から販売が開始された。

開発された器材については、県内での導入が予定されているほか、他県の自治体からも問い合わせが寄せられている。